

「かわいい」という言葉がもたらす

幸福効果についての研究

岸本香帆, Kaho Kishimoto

要約:「かわいい」という言葉がもたらす幸福効果について、先行研究ではまず「きわいい」という言葉の定義について読みといた。「かわいい」という言葉にはポジティブな意味だけでなく蔑みや同情などの意味も持ち合わせており様々な定義があることがわかった。さらに「かわいい」という言葉を用いることで人にどれだけの効果をもたらすのかについて、「ピグマリオン効果」により言葉は心と体に大きな影響を与えるため、プラスの言葉を使うことで自分磨きに大きく繋がることがわかった。そして実験を行い、「かわいい」がもたらす幸福度についてより詳しく研究した。実験の結果、幸福度診断「well-being circle」において「かわいい」という言葉を言い続けることで幸福度が高まり、心理面においても行動面においても変化が生まれる、という結果になった。しかし様々な条件下で実験をすることで出てくる結果もあるということが新たな課題として出た。

キーワード: かわいい、幸福度、ピグマリオン効果

I. はじめに

現代社会において、「かわいい」という言葉をよく耳にする。日常生活でも子供や動物、キャラクターなどを見て「かわいい」と口にしたり耳にすることは誰しもが経験したことがあるのではないだろうか。現在では「かわいい」の対象は広がり、純粋にかわいいものだけではなく、おじさんや虫などこれまで一般的に「かわいい」という言葉とは無縁であろうものまでも「かわいい」といわれるようになったのである。特に最近では「キモかわいい」や「ウザかわいい」など形容詞のバリエーションを増やし社会浸透してきている。最近ではそのブームに乗っかって、「かわいいおじさん」をテーマにした漫画やドラマも増えてきている。さらには短尺の動画をシェアできる SNS「TikTok」においておじさんが音楽に合わせて踊るだけの動画が 1600 万回再生され、その動画のコメント欄には「このおじさん推しです」「可愛すぎる」などの書き込みが 100 件以上あり、TikTok では「かわいいおじさん」現象が起こっていた。このように日本の「かわいい」文化はスケールアップしてきているのである。海外においても日本の「かわいい」文化は 2000 年代から普及しはじめ現代でも人気は衰えていない。実際私は「かわいい」という言葉が好きで

ある。理由としては単に「かわいい」という言葉の掛け合いが自己肯定や自信に繋がるからである。そのため昔からこの言葉に関してプラスの意味でもマイナスの意味でも興味や疑問を抱くことが多かった。

一方、「かわいい」という言葉に対してネガティブな意見もある。例えば、「女性が女性に言うかわいいは信用できない」「男性に対するかわいいは、はたして誉め言葉なのか」。あるいは、「『かわいい』と言われ続けるとかわいくなるというのは本当か」「そもそも「かわいい」の定義とは」といったその言葉に対して疑問視する意見もある。

「かわいい」という言葉をインターネットや SNS で検索すると様々な興味深い内容がヒットする。その中で私は、なぜ日本人はかわいいという言葉に強い執着心をもつのか、それは何か精神的に強い意味をもたらす効果があるのではないかと考え、「かわいい」を卒業論文のテーマに設定した次第である。

「かわいい」というテーマの研究は世界中に多く存在するが、その定義は実にあいまいで様々である。たとえばどのような定義があったのか？本論では「かわいい」という言葉と「幸福度」との関連性に重点を置き、「『かわいい』という言葉がもたらす幸せの効果」について探してみたいと思った。「かわいい」という言葉は一般的にポジティブな意味で使用されることが多いことから、実際に人の幸せに繋がるのかという理由から「幸福度」というテーマに設定している。

その目的を果たすために本論文は、次のように構成する。II では、先行研究をもとに「かわいい」という言葉の意味を確認する。特にこの言葉が若い女性の精神面・行動面においてどのような効果をもたらすのかを明らかにする。III では 20 代の日本人女性 6 人を対象とした「かわいい」がもたらす幸福度についての実験結果を分析する。IV では、本論文の内容をまとめ、新たな課題について述べる。

II. 先行研究から読み解く「かわいい」の意味

前章でも述べたように「かわいい」の定義は様々で捉え方も人それぞれである。「かわいい」という言葉について、日本でもその意味は一樣ではなく、まして世界においても頻繁に使用される言葉である。そのため先ず「かわいい」という言葉の定義について辞書や先行研究を調査し、読み解いていきたい。

1・辞書での定義

まず辞書で説明されている一般的な定義を確認していこう。

ア. 広辞苑 (第 7 版) (一部抜粋) では「かわいい」の意味について、次のように示されている。

「かあい・い【可愛い】〔形口〕(「かわいい」の変化。「愛」や「哀」を連想したところからできた造形) =かわいい (可愛)」

「かわい・い【可愛い】(かはいい)〔形口〕(「かわゆい」の変化)

1. あわれで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。※史記抄一八「一人か法を犯たとて罪もない父母や妻子や同産の兄弟まてつみせらるるはかわいい事ぞ」
2. 人や動物に心惹かれて、大事にしたいという感じである。いとしい。※滑・浮世風呂一前「可愛(カワイイ)坊に灸うすえて」
3. 幼い子供の顔や姿、行動などが、思わず微笑みたくなるほど愛らしい。かわいらしい。「可愛い寝顔」
4. (品物が) 小さくて、やさしく扱ってやりたい気持ちを起こさせるさまである。かわいらしい。「可愛い花が咲く」

イ. 日本国語大辞典第二版(2000)(一部抜粋)では、次のように定義している。

「かわい・い【可愛】(「かわゆい」の変化した語。

- (1)あわれで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。いたわしい。(2)心がひかれて。放っておけない。大切にしたいという気持ちである。深く愛し、大事にしたいさまである。いとしい。
- (3)愛すべきさまである。かわいらしい。(イ)(若い女性や子どもの、顔や姿が)愛らしく、魅力がある。(ロ)(子どものように)邪心がなく、殊勝なさまである。いじらしい。
- (4)(物や形が)好ましく小さい。また小さくて美しい。
- (5)とるに足りない。あわれむべきさまである。やや侮蔑を含んでいう。)

「かわゆ・い【可愛】(「かわはゆし(顔映)」の変化した語)

きまりがわるい。はずかしい。

- (2)(物をまともに見ていられない意から)あわれで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。気の毒だ。愛らしく感じられる。また、甘えの気持ちをこめて愛人などをいとしいと思うさまにいう。かわいい。
- (4)小さくて、やさしく扱ってやりたい気持ちを起こさせるさまである。好ましく小さい。かわいい。かわいらしい。』。

このようにどちらの辞書でも「かわいい」という単語には様々な意味がある。私たちが一般的に使用しているポジティブな意味だけではなく、蔑みや同情の意味としても使われていることがわかる。たとえば、広辞苑での「1. かわい・いがあわれで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。」、日本語大辞典での「(5)とるに足らな

い。あわれむべきさまである。」がそれに該当する。

2・「かわいい」に関する先行研究での定義

辞書の他に「かわいい」について学術的な先行研究はいくつかがある。ここでは入手した四方田 (2006) と入戸野 (2019) の研究を中心にレビューする。

入戸野 (2019) によれば、「これは鎌倉時代から安土桃山時代の中世では「見るに忍びない」の意から、気の毒でふびんである、という意味で用いられ。中世後半では女性や子どもなどの弱者への憐れみの気持ちから発した情愛の念を示す意が派生し「かわいい」という語の変化形が生まれた由来からきているからである。¹⁾

さらに四方田 (2006) は、「かわいい」の意味として「グロテスク」「小さく、幼い」「なつかしさ、子供らしさ」を挙げている²⁾。それに対し入戸野 (2019) は「小さく、幼いものがかわいいとはかぎらない³⁾」と論じている。

石川 (2015) は、「かわいい」の意味について、現代において用いられる「かわいい」には従来の意味である「愛らしい」に加え、気に入ったものを主張する機能、海外の人が日本文化の一部を示す機能、会話上の潤滑油であると分析している。さらに日本で用いられている「かわいい」の意味を海外の言語に置き換えることは困難であり、日本特有の言語であると主張している⁴⁾。

これらの先行研究からも、「かわいい」という言葉の定義は一概には言えず様々な捉え方があることが理解できる。辞書の定義にしる、先行研究での定義にしる、ここで言えることは、私たちが普段何気なく使用している「かわいい」という言葉は単純な意味で説明ができないということである。使用場面や使う人の感情によって様々な使い方が可能である。言い換えれば、「かわいい」という言葉は捉え方や価値観次第で変化することがわかる。では多種多様な意味を包括する「かわいい」は私たちにどのような効果をもたらすのか。

3・先行研究から読み解く「かわいい」がもたらす効果

本論の仮説として、「かわいい」という言葉は多くの対象にポジティブな効果をもたらすと考えている。例え辞書的な意味では同情や憐れみ等の意味が多かったが、日常生活において「かわいい」はやはりポジティブな意味で使われていることが圧倒的に多いと思われる。この言葉のポジティブな意味は、人々にどのような効果をもたらすのか、先行研究の知見をまとめよう。

入戸野 (2019) は、「かわいい」は「注意を引きつける」「長く見つめられる」「笑顔になる」「気分が良くなる」「丁寧な行動をするようになる」「細部に注目しやすくなる」「手助けしたくなる」「癒される」など様々な効果をもたらすと述べている⁵⁾。さらに、「かわ

いい」ものは精神そして肉体的にも影響を及ぼしており、「かわいい」ものが快であると評価されることは、先行研究で一貫して認められており、「かわいい」の感情の定義に「ポジティブである」ことが含まれているのでその効果は当然の結果である、と主張している⁶。

入戸野 (2019) によると、ビジネスにおいても「かわいい」という要素が含まれるだけで、相手の感情が変化する。例えば商品の見た目の可愛さだけではなく、「かわいい」のもつポジティブさや親近感といった感情を狙うことで、商品を手にするきっかけのハードルを低くしたりファーストコンタクトで良い印象を残すことが出来たりと、相手の行動にポジティブな影響を簡単に与えることが出来ると説明している⁷。

上記の通り、「かわいい」ものが与えるプラスの効果は多くの研究で立証されてきている。では、その「かわいい」といわれた対象が自分自身になってもその効果は発揮されるのか。

実際「かわいい」ものの定義や与える効果についての論文は多くあれども、対象者本人が「かわいい」と言われることに対する先行研究はほとんどない。しかし女性向けのコラムやエッセー等では、「かわいい」という言葉はテーマとして取り上げられることが多いのも事実である。例えば恋愛心理学において恋人に「かわいい」と言い続けることで実際にかわいくなるというのは、誰しもが1度は耳にしたことがある説なのではないだろうか。これは「ピグマリオン効果」というものが関係してきている⁸。「ピグマリオン効果」とは、アメリカの教育心理学者ロバート・ローゼンタールとフォードが行った実験で、他人からの期待を受けることで、期待を受けた人の学習成績や仕事での成果が上がる、という心理効果である⁹。これは主に学校や職場などの教育心理学の場面で使われる事が多いが、恋愛の場面でも効果があると言われてきている¹⁰。「ピグマリオン効果」のポイントは、「日常的な声掛け」である¹¹。定期的に「かわいい」と声掛けをすることで、相手は嬉しくなり更にかわいくなるための変化をしようとするからである。臨床心理士の山名は「ピグマリオン効果で女性は綺麗になる。他人やモノに対して『かわいい』『きれい』と言っている、耳から入った言葉によって『自分が褒められた』と脳が錯覚し、自己肯定感が高まる。言葉は心と体に大きな影響を与えるため、プラスの言葉を使うことで自分磨きに大きく繋がる」と主張している¹²。

前述したように、「ピグマリオン効果」は教育の場面で成績という数字で実証されていたが、今回のようなテーマにもあてはまるのか。しかし、「かわいい」といわれ続けて本人がかわいくなったかどうかの立証は難しい。しかし、「かわいい」と言われることで本人が「幸せ」と主観的に感じるかどうかの測定は可能である。したがって、「かわいい」という言葉が言われた人のもたらす効果の検証の効果について、本論で実験を行い、「かわいい」という言葉がもたらす幸福効果について明らかにしていく。

Ⅲ. 実験

実験では「かわいい」という言葉を一定期間（5日間）において言い続けることで、被験者の若い女性の幸福度は高まるのかを測定する。

1 実験対象者

20 歳から 23 歳までの日本人 6 人を対象として実験を行った。

2 実験時期

- ①令和 5 年 1 月 3 日から令和 5 年 1 月 8 日の 5 日間
- ②令和 5 年 1 月 12 日から令和 5 年 1 月 17 日の 5 日間

3 実験方法

実験は、対象 6 人に対しそれぞれ条件を変えながら 5 日間「かわいい」という言葉を言い続けるというシンプルな方法である。研究に公平性をもたすと言われる回数の差による効果を検証するために、被験者によって 1 日に 2 回、10 回以上という二つの頻度で、言葉をかける回数に差をつけた。他にも事前に実験であることを知らせる組と知らせない組を作ることで、言葉をかける回数や事前告知等の条件の変化による効果の差を検証する。そして実験終了前後で心理面、行動面に変化が現れるかを調査質問票に回答することで把握していく。

検証対象の幸福度の判定については、一般社団法人ウェルビーイングデザインの幸福度診断「well-being circle」¹³をもとに分析した。「well-being circle」は、72 問の質問調査票に答えることによって幸福度を科学的に多方面に計測できるテストである。利用者は 10 万人を超え、個人だけでなく会社などでも利用されており、自身の現在の幸福度やどの分野において幸せを見出しているのかが数値化される。幸福度の項目は、全体としての幸福度を示す「Well-Being—幸せの総合指標—」、どうなると幸せなのかをまとめた「幸せの 4 つの因子—幸せな心のありよう—」、自己実現「やってみよう因子—自己実現と成長の因子—」、オキシトシンのもとである「ありがとう因子—つながりと感謝の因子—」、「なんとかなる因子—前向きと楽観の因子—」、「ありのままに因子—独立と自分らしさの因子—」、性格・気質診断「BigFive 性格因子—心—」、「健康とストレス—身体—」、長続きする幸せにとって不可欠な「社会の幸せ力—環境—」「職場の幸せ力—環境—」、「地位財—長続きしないけれど—」の全 11 項目である¹⁴。このテストを実験前後に行ってもらうことで、対象者のどの分野に効果が出るのかに注目して実験していく。そして付随してこちらで作成した行動面に対する質問調査票調査も行うことで、心理面・行動面への効果を分析

していきたい。

4 対象者のプロフィールとグループ分けについて

グループ1 : A (23 歳)、B (21 歳)、C (19 歳)

ーグループ1には、「卒業論文のための研究である」、一と事前に告知しテーマ等説明済みである。被験者に毎日感想を送ってもらうことを依頼した。

グループ2 : D (23 歳)、E (22 歳)、F (20 歳)

ーグループ2には、事前説明は一切しなかった。感想については最終日にまとめたのを依頼した。

2つにグループ分けをしたうえで、「かわいい」と言う回数をA・E・Cには1日10回以上、D・B・Cには1日出会いと別れの場面の2回とした。被験者との関係性や性格情報も交えながら研究結果を記録していく。

5 記録結果

A の場合

Aには実験であることを事前告知し、一緒に過ごした5日間で1日10回以上、計50回以上「かわいい」という言葉を言い続けた。Aとの関係性は仕事仲間ではあるが友人という距離感であり、普段互いに「かわいい」という言葉をかけあうことはなかった。質問票調査では、1日目の感想は「はずかしい」というもので幸福度を5段階で評価すると4と好感触であった。しかし2, 3日目は「まあうれしい」「飽きた。何十回も言われると何も思わなくなる」など研究と知っているという条件もあるからか感情の変化がなくなり、幸福度評価も3であった。4日目には「かわいいと言われることに慣れてきた」ため幸福度評価は3であった。5日目は「ラストと思うとそれはそれで悲しい」とし、幸福度評価は4であった。全体評価として、「普段かわいいと言われる機会が全くないため新鮮で恥ずかしい気持ちが1番にあった」と評した。幸福度評価は4としていた。「well-being circle」テストでは、実験前が「職場の幸せ力」「社会の幸せ力」の数値がほぼほぼ満点に近い結果であったが、実験後はその変化はなく、「ありがとう力」の数値が60から90へ上がっていた。行動面の質問票調査では、「実際に5日間行動に変化があったか」という質問に対し「変化なし」との結果であった。

B の場合

Bには実験であることを事前告知し、一緒に過ごした5日間で1日10回以上、計50回以上「かわいい」という言葉を言い続けた。Bとの関係性は仕事仲間でもありかなり深い仲で、明るく前向きな性格である。質問票調査で、1日目の感想は「かなり楽しい1日であった」というもので幸福度を5段階で評価すると5とかなり好感触であった。2日目に関しても「楽しい」と幸福度評価も5であった。3、4日目は「慣れてきたけども嬉しい事には変わりなかったなど、幸福度評価も4と高いままであった。最終日5日目は「気持ちの良い5日間だった」とし、幸福度評価は5であった。全体評価として、「かわいいという言葉が聞こえたら自分の事と勘違いするくらいには生活に「かわいい」が馴染んできた」と評していた。「well-being circle」テストでは、実験前が「職場の幸せ力」「BigFive 性格志向」「やってみよう力」の数値がほぼほぼ満点に近い結果であったが、実験後「BigFive 性格志向」が更に伸び、最も低い数値だった。「なんとかなる力」の数値が50から70へと上がっていた。行動面の質問票調査では、「食欲が増した」との結果であった。

C の場合

Cにも同じく実験であることを事前告知し、一緒に過ごした5日間で1日10回以上、計50回以上「かわいい」という言葉を言い続けた。Cとの関係性は学校の後輩である。質問票調査で、1日目の感想は「かなり楽しい1日であった」というもので幸福度を5段階で評価した。2日目に関しても「楽しい」と幸福度評価も5であった。3、4日目は「慣れてきたけども嬉しい事には変わりなかったなど、幸福度評価も4と高いままであった。5日目は「気持ちの良い5日間だった」とし、幸福度評価は5であった。全体評価として、「かわいいという言葉が聞こえたら自分の事と勘違いするくらいには生活に『かわいい』が馴染んできた」と評していた。「well-being circle」テストでは、実験前が「職場の幸せ力」「BigFive 性格志向」「やってみよう力」の数値がほぼほぼ満点に近い結果であったが、実験後「BigFive 性格志向」が更に伸び、最も低い数値だった「なんとかなる力」の数値が50から70へ上がっていた。行動面質問票調査では、「食欲が増した」との結果であった。

D の場合

Dには事前告知は一切せずに、1日に2回、計10回程度「かわいい」という言葉を言い続けた。Dとの関係性は幼馴染でありかなり深い仲である。Dは自己投資に時間やお金がかかる性格である。グループ2の実験対象者には、実験後に質問票調査のみを取った。5日間の全体評価として、「全く気付かなかった。言われてみれば確かに今週はお洒落に気を使っていた」と評している。幸福度評価は3である。「well-being circle」テストでは、実験前が「社会の幸せ力」が最高数値であり、「BigFive 性格志向」「ストレスの低さ」の

数値が研究対象者6人のなかで最も低い数値を出していた。実験後は「BigFive 性格志向がわずかに伸びたが、最も低い数値だった「ストレスの低さ」の数値が30から80へ大幅に上がっていた。行動面質問票調査では、「特に行動に変化があったかは覚えていないがいつもよりも人と話す機会が多かった気がする」との結果であった。

E の場合

Eには事前告知は一切せずに、1日に2回、計10回程度「かわいい」という言葉を言い続けた。Eとの関係性は仕事仲間であり、最近知り合ったばかりである。Eは真面目な性格である。全体評価として、「実験後半にかけて最近よくかわいいと言ってくれるなあと思っていた。容姿や服のセンスに自信があまりないため『かわいい』と毎日褒めてくれるおかげで自己肯定感が上がって朝の準備が楽しかった」と評していた。幸福度評価は4であった。「well-being circle」テストでは、実験前が「社会の幸せ力」数値が他の項目と比較するとかなり高い結果であったが、実験後、最も低い数値だった「職場の幸せ力」と「ストレスの低さ」の数値がどちらも40以下から70へ上がっていた。行動面の質問票調査では、「良質な睡眠が出来ていた気がする」との結果であった。

F の場合

Fには事前告知は一切せずに、1日に2回、計10回程度「かわいい」という言葉を言い続けた。Fとは仕事仲間である。普段からお互い「かわいい」という言葉を掛け合い、アイドル好きということもあり「かわいい」にかなり敏感な性格である。全体評価として「かわいいとよく言われると思って気持ちの良いものだった」とし、幸福度評価は5であった。「well-being circle」テストでは、実験前が「BigFive 性格志向」「ありがとう力」の数値が90から97と高い結果であったが、実験後は「職場の幸せ力」の数値が70から90へ上がっていた。行動面質問票調査では、「実験期間中お金遣いが荒かった」との結果であった。

以上の実験結果から、それぞれの実験条件や被験者の性格によって様々な結果がでたが、共通しているのは、「かわいい」という言葉に嫌な気持ちは一切なく、実験を通して強く意識するようになったということである。そして今回の実験対象者は職場の人間が多かったためか、「職場の幸せ力」の数値が全員上昇した、という結果が出た。このことから実験する側とされる側の関係性によって、される側が感じた幸福の種類が変わることがわかった。条件分けに関して、実験結果には大差はないものの、「事前に告知」と「1日2回言う」条件の方が高い幸福度を示すことがわかった。これは「告知なし」の条件だと1日10回でも言わない限り「かわいい」という言葉に意識を向けづらく、しかし1日に10回も言うと言葉に信ぴょう性がなくなり、「かわいい」を軽視する傾向があったと考えられる。そのため条件としては「事前告知」ありで「1日に二回程度」が幸福度を高めるに

は効果的であると考え。そしてこの条件は、「日常的に言い続ける」ということも重要である。第2章で紹介した「ピグマリオン効果」でも説明したように、それは継続的な声掛けによって、脳が錯覚を起こし効果が表れるのである。そして全体としての幸福度を示す「Well-Being ー幸せの総合指標ー」の数値も多少の差はあるが、全員には部分的に数値が改善した。行動面に関しては、被験者によって変化のありなしはあったが、「食」「化粧」「ファッション」「睡眠」「コミュニケーション」などの側面において変化が表れていた。これらの行動面に関しては、被験者に思い当たる節があるかどうかの質問を行ったところ、普段意識しない、または興味がない、苦手分野に関連する行動であることがわかった。つまり今回の実験を通して、被験者は普段とは違う行動を取ることができるようになった。一言い換えればチャレンジする精神が生まれたのではないかと考えられる。被験者によって、幸福の基準や何によって幸福と決まるのかは違うため、主観的な意見にはなるが今回の実験において質問票調査、幸福度診断「well-being circle」においては「かわいい」という言葉を言い続けることで幸福度が上がり、心理面においても行動面においても変化が生まれる、という結果になった。

IV. まとめと今後の課題

本研究の目的は、実験によって「かわいい」という言葉は人に幸福度を高めるのかどうかについて実証することである。今回の実験結果からわかることは、「かわいい」という言葉を言い続けることで、主に心理的な側面において効果があることがわかった。

先行研究において、「かわいい」の意味には私たちが一般的に使用しているポジティブな意味だけではなく、蔑みや同情の意味としても使われていることがわかった。それは、この言葉の使用場面や感情によって様々な使い方が可能であることを意味する。つまり、「かわいい」という言葉は人々の捉え方や価値観次第で変化することがわかった。そして「かわいい」という言葉は「注意を引きつける」「長く見つめられる」「笑顔になる」「気分が良くなる」「丁寧な行動をするようになる」「細部に注目しやすくなる」「手助けしたくなる」「癒される」など様々な効果があることも先行研究からわかった。さらに、「ピグマリオン効果」によって「かわいい」と声掛けをすることで、相手は嬉しくなり更にかわいくなるための変化をしようとする臨床心理学が存在することもわかった。本論は、それを立証するために、5日間6人の被験者に対して「かわいい」と言い続ける実験を行った。その結果に個人差はあるが、6人の被験者とも心理的側面そして行動的側面において幸福度が上がったことが検証された。

実験をしていく中で、被験者によって幸福度診断「well-being circle」の数値が上がる幸福度を測る項目に偏りがあることに気づいた。そして、今回の実験に関しては6名の被験者全員が職場の人間であったことから「職場の幸せ力」の項目の数値が極端に上がってい

たが、では「かわいい」という側が家族や恋人、友人、知り合い、異性など条件を変えることによって、変化する幸福度の項目も変わるのだろうか。例えば恋人同士で「かわいい」または「かっこいい」といいあえばより明確に幸福度があがるのか。そして今回の実験では幸福度の計測を福度診断「well-being circle」によって行ったが他の計測方法だどどのような結果になるのか気になる。例えば幸せホルモンと呼ばれる「オキシトシン」「セロトニン」「ドーパミン」の量の計測によって幸福度を測ることができたらより正確な結果が得られるかもしれない。さらに今回の研究においては「かわいい」という言葉が男性にはほとんど影響を与えることができないのではないかと研究前に推測し除外したことから、実験対象者を女性のみに限定した。しかし、逆に対象者を男性にすると効果は表れるのだろうか。そもそも男性は「かわいい」という言葉に対してポジティブな印象を持っているのだろうか。このように「かわいい」の世界はまだ奥が深く未知数である。今回の研究では実験不足から明らかにすることはできなかったため、今後の課題として挙げていきたい。

参考文献

- ・いきなりデートラボ (2020)、「【恋愛心理学】ピグマリオン効果とは？恋人をイケメン or 美人にする方法」、<https://diamond.jp/articles/-/118767> (2023/1/15 閲覧)。
- ・石川なつ美 (2015)、「「かわいい」の意味について」、東京女子大学言語文化研究 24。pp. 21-35。
- ・入野野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』、化学同人。
- ・小学館 (2000)、『日本国語大辞典第二版』。
- ・山名裕子 (2017)、「幸せを引き寄せる「口ぐせ」の魔法」、ダイヤモンドオンライン、<https://diamond.jp/articles/-/118767> (2023/1/15 閲覧)。
- ・四方田犬彦 (2006)、『「かわいい」論』、筑摩書房。
- ・一般社団法人ウェルビーイングデザイン | Well-Being Design | (well-being-design.jp)
<https://www.well-being-design.jp/> (2023/1/15 閲覧)

¹ 入野野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』化学同人、第一章「かわいい」とはなんだろうか、第五節「言葉の歴史」より抜粋。

² 四方田犬彦 (2006)、『「かわいい」論』、第 4,5,6 章より抜粋。

³ 入野野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』化学同人、第 4 章幼さとかawaiiさ第 1 節「幼いものがかわいいとはかぎらない」より抜粋。

⁴ 石川なつ美 (2015)、「かわいい」の意味について 東京女子大学言語文化研究、p33 よ

り抜粋。

- ⁵ 入戸野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』化学同人、第六章「かわいい」がもたらす効果、全節より抜粋。
- ⁶ 入戸野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』化学同人、第六章「かわいい」がもたらす効果、第四節「気分が良くなる」より抜粋。
- ⁷ 入戸野宏 (2019)、『「かわいい」のちから—実験で探るその心理』化学同人、第七章「かわいい」の応用、第一節「カワいいもの研究会」より抜粋。
- ⁸ 山名裕子 (2017)、「幸せを引き寄せる「口ぐせ」の魔法」ダイヤモンドオンライン、<https://diamond.jp/articles/-/118767> より抜粋 (2023/1/15 閲覧)。
- ⁹ 山名裕子 (2017)、「幸せを引き寄せる「口ぐせ」の魔法」ダイヤモンドオンライン、<https://diamond.jp/articles/-/118767> より抜粋 (2023/1/15 閲覧)。
- ¹⁰ 山名裕子 (2017)、「幸せを引き寄せる「口ぐせ」の魔法」ダイヤモンドオンライン、<https://diamond.jp/articles/-/118767> より抜粋 (2023/1/15 閲覧)。
- ¹¹ いきなりデートラボ (2020)、「【恋愛心理学】ピグマリオン効果とは？恋人をイケメン or 美人にする方法」、<https://diamond.jp/articles/-/118767> より抜粋 (2023/1/15 閲覧)。
- ¹² いきなりデートラボ (2020)、「【恋愛心理学】ピグマリオン効果とは？恋人をイケメン or 美人にする方法」、<https://diamond.jp/articles/-/118767> より抜粋 (2023/1/15 閲覧)。
- ¹³ 一般社団法人ウェルビーイングデザイン | Well-Being Design | (well-being-design.jp) <https://www.well-being-design.jp/> (2023/1/15 閲覧)
- ¹⁴ 一般社団法人ウェルビーイングデザイン | Well-Being Design | (well-being-design.jp) <https://www.well-being-design.jp/> (2023/1/15 閲覧)